

管理所レビュー VOL.13

(R4.12.28 水源林管理所)

今年度最後の活動となる第13回のボランティア活動が、10月27日(木)に実施されました。

当日は、最高気温が9度とたいへん寒い日でありましたが、安全に間伐作業を実施することができました。皆様、大変お疲れ様でした。

令和2～3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響でほとんどの活動が実施できない状況でした。今年度は感染予防をしっかりと行っただけで活動回数と参加人数を減らし、まさにWithコロナ対策で臨んだ結果、予定どおり13回全ての活動を実施することができました。

また、県道横断時の安全対策にもご協力いただき、事故を起こすことなく、無事終了できたこと、改めて感謝申し上げます。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振り返りなどをお知らせします。

1 活動当日の様子



雲は多いながらも絶好の間伐日和。



準備体操をしっかりと。



始まりの会で体調確認！



無理な体勢での作業は注意！



刃先は下がりやすいので注意！



ロープは山側へ。鉄則ですね！



浮いた材の玉切り・枝払いは注意！



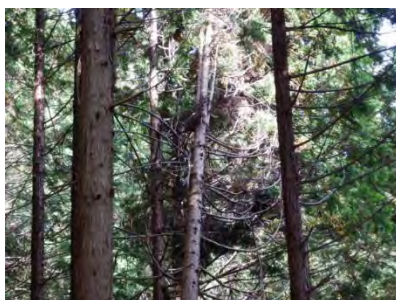
切り株が高いですね。



切り残し(ツル)の効いた伐倒。



受け口の高さに合わせた追い口線。



かかり木発生！



木回しは専用の道具を使いましょう！

2 感謝を込めて。

活動終了後には、「道志水源林ボランティアの会」の皆さんの今年度の活動に対して、村居理事長と小川水源林管理所長より感謝の言葉があり、参加者の皆さんの充実感に満ちた笑顔の中、活動の締めくくりを行なうことができました。

「今年度も皆様のご協力により、安全に森林整備を進めることができました。お礼申し上げます。ありがとうございました！」



村居理事長あいさつ。



小川水源林管理所長あいさつ。

3 道志の森インストラクター自主研修

11月19日、インストラクターを対象とした「森づくり部会 自主研修」が実施されました。当日はインストラクター15名、記録担当1名、計16名の方が参加され、絶好の間伐日和の中、「3倍応力を活用するため予備滑車を使用しての伐倒」など、間伐の技術面の向上をはかりました。安全な間伐作業の実施には、インストラクターの役割が大変重要です。今後ともよろしく願いいたします。

【自主研修の様子】



※ 今年度は本当にお疲れ様でした。来年度も安全作業へのご協力、よろしく願いいたします。

★来年度も皆様のお越しをお待ちしております。